

会 議 録

会 議 の 名 称	第 8 回 行 田 市 産 業 交 流 拠 点 整 備 基 本 計 画 検 討 委 員 会
開 催 日 時	平 成 29 年 1 月 30 日 (月) 開 会 : 18 時 00 分 閉 会 : 19 時 30 分
開 催 場 所	産 業 文 化 会 館 2 階 第 2 会 議 室
出 席 委 員 氏 名	小 林 乙 三 (行 田 市 環 境 経 済 部 長) 飯 嶋 隆 夫 (行 田 フ ラ イ ・ ゼ リ ー フ ラ イ 友 の 会) 大 野 真 理 ((公 社) 行 田 青 年 会 議 所) 町 田 光 (N P O 法 人 魅 力 創 造 倶 楽 部) 西 田 信 子 (行 田 軽 ト ラ 朝 市 実 行 委 員 会) 泉 達 也 (関 東 道 の 駅 連 絡 会) 大 橋 菜 央 (リ ク ル ー ト じ ゃ ら ん 統 括 編 集 部) 堀 口 貴 子 (星 河 地 区 自 治 会 連 合 会) 長 谷 川 浩 (農 業 従 事 者) 市 川 ひ ろ み (星 宮 小 学 校 P T A) 大 澤 和 美 (長 野 中 学 校 P T A) 伊 藤 徹 哉 (立 正 大 学 地 球 環 境 科 学 部) 大 篠 一 也 (埼 玉 県 行 田 県 土 整 備 事 務 所) 太 田 彰 (公 募 市 民) 吉 田 明 夫 (環 境 経 済 部 農 政 課 長) 告 広 子 (公 募 市 民) 岩 田 樹 一 良 (総 合 政 策 部 企 画 政 策 課 長)
欠 席 委 員 氏 名	小 池 利 昌 (行 田 市 商 店 会 連 合 会) 戸 塚 昌 利 (N P O 法 人 行 田 観 光 物 産 会)
事 務 局	商 工 観 光 課 : 柿 沼 産 業 振 興 推 進 幹 、 赤 城 主 事 、 西 山 主 事 ラ ン ド ブ レ イ ン 株 式 会 社 : 水 嶋 、 福 島 、 野 沢
会 議 内 容	・ 議 事 1) 行 田 市 産 業 交 流 拠 点 整 備 基 本 計 画 素 案 の 確 認 に つ い て ・ そ の 他
会 議 資 料	・ 次 第 ・ (資 料 1) 行 田 市 産 業 交 流 拠 点 整 備 基 本 計 画
そ の 他 必 要 事 項	・ 傍 聴 者 3 名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局（柿沼）	開会 資料確認
	委員からの近況報告
事務局（赤城）	議題（１）「行田市産業交流拠点整備基本計画（素案）」資料説明。
小林委員長	１～３章は基本構想等の内容となる。事前に目を通していただいた中で、ご意見いただきたい。
西田委員	来年度に予定している、民間業者と打ち合わせの意図は募集になるのか。
事務局（赤城）	まだ募集ではない。参入できそうな民間に基本計画を見てもらい、市で考えている内容で、事業者側が賛同できるかどうかを伺うもので、サウンディング調査のようなものではない。
西田委員	実際運営していく人に意見をいただくためのものか。
事務局（赤城）	会社によって全てできるところと、部分的にできるところがある。どこの会社がどの程度できるかを確認するものである。
長谷川委員	パブコメの内容を検討委員は見られるのか。
事務局（赤城）	パブコメは２月６日～１７日まで設けている。パブコメに出された意見は集約して次回の検討委員会でお配りしたい。そのときに見ていただく予定である。
泉委員	１２１頁、ステップでスケジュールが書いてあるが、大まかな期間は話せるか。それぞれのステップ期間のスケジュール感はあるか。
事務局（赤城）	開業目標は平成３５年度である。来年度以降の調整によって変わってくるので、年度を入れることは避けている。
大篠委員	パブコメで寄せられた意見は、どのように対応するのか。意見を出すだけか。意見によって何か修正をするのか。
事務局（赤城）	頂いた意見は事務局でまとめ、反映出来るものは反映する。趣旨にそぐわないものは参考とさせていただく。神奈川県や千葉県のように、５０個ぐらいになったら検討委員会の中では一覧をお見せするだけになると思う。その後、事務局で対応という形を取らせていただく。
長谷川委員	素案は全部ネットで閲覧できるのか。

事務局（赤城）	インターネットで全て公開予定である。現在インターネットで全ての資料、議事録を公開中である。
長谷川委員	基本計画はすごい量である。
事務局（赤城）	当初は議事録と資料は入れる予定ではなかったが、検討経緯が分かるようにすべて基本計画に載せている。
太田委員	パブコメは、当初我々が勘違いしたように、多種多様の意見が出ると思う。その辺はどう考えているのか。
事務局（赤城）	いただいた意見は全て確認する。対応については、意見によって異なる。
太田委員	全部読んだ。よくできている。しかし、全体像のイメージが沸いてこない。建物のイメージ図を入れてはどうか。
事務局（赤城）	検討委員会では、参考にゾーニング図や動線図等を示したが、図面を見せると決定事項という認識が先行してしまうので、文章で示している。図やゾーニングを入れた方がよいという意見もあると思うが、今申し上げた通りとしたい。
太田委員	整備スケジュールについて、確定出来ることはないか。
事務局（赤城）	確定ができる段階なのがステップ3の実施設計のときとなる。この時にはゾーニングも施設も全て確定し、工事や完成までの詳細も示せる。
太田委員	それは何年度の計画か。
事務局（赤城）	35年度の目標をもって、この基本計画で民間企業に賛同していただけたところを探す。現在すでに営業に来る会社もある。相談し可能性を詰めていく。
太田委員	パブコメは、法人、個人関係ないか。
事務局（赤城）	ない。行田市に関係する皆さまであれば自由にコメントできる。
大篠委員	パブコメの資料は、検討委員会として出すのか。市として出すのか。
事務局（赤城）	市として出す。委員会は検討委員会であり、策定委員会ではないのため。
伊藤委員	施設管理の方針について、全体像として指定管理者とPFIの併記という形になるかと思うが、最終的には議会議論の結果、策定するということがよいか。
事務局（赤城）	基本計画は議決を得ない。PFI等の事業方式決定の際は、議会承認を得る形となる。
伊藤委員	施設全体のイメージは指定管理かと思っていたが。

事務局（赤城）	まだ決定ではない。
伊藤委員	望ましい運営管理手法について、内容によって変えている。生活交流エリア等で、ウェルネスサポート施設、市役所窓口、防災備蓄センター、などがそれぞれわかれている。このあたりは問題ないのか。先行事例等になって可能性を出しているのか。
事務局（赤城）	そうである。
伊藤委員	ウェルネスサポート施設は、民営の場合、事業者が集まるかどうかという課題がある。民営だけでよいのかということで質問させていただいた。今後検討していただきたい。
小林委員長	今回お示しした運営管理方針は素案中の素案である。もう少し詳しくした方がよいのではということで、現在修正しており、文章を加えるなどして、より分析的に分かりやすくしているところである。
伊藤委員	運営部分は、市民が気になる費用負担もあるので、丁寧に書いた方がよいと思う。
小林委員長	パブコメまでには、改定後の内容とする。委員の皆さまにもお示しする。基本計画としてはよい内容になっていると思う。しっかりと煮詰めてやっている。皆さまのご協力のおかげである。最終的にパブコメなども反映する。家に帰って気づいたこと等があれば、お知らせいただきたい。
西田委員	7頁、ア) 核となる施設の整備、5行目から下はビジョンについての記載であるが、はっきりと現状の課題がこうなので、こうした方がよい、このような形にしていくといったビジョンを盛り込んだ方がよいのではないかな。
事務局（赤城）	こちらは平成25年3月に作成した行田市産業振興ビジョンの抜粋である。政策として、核となる施設の整備について示されており、これを進めるために、今回産業交流拠点を改めてクローズアップして、調査研究と基本構想として市の内部でまとめ、市民の方々の意見を交えながら、基本計画を策定してそれを持って示していくものである。
西田委員	ページの割振りの問題であり、そのあたりの内容を分かりやすくまとめて説明をしていただければと思う。
事務局（赤城）	産業振興ビジョンはこの委員会では検討していない。
西田委員	言葉の中で雇用促進や産業の創造が出てきたらよいという話だったと

	思う。全てを通した現状とビジョンがあるが、なんの為にするのか、そこを分かりやすくするか、説明をして欲しい。
事務局（赤城）	検討させていただく。
小林委員長	ここに記載しているのは、産業振興ビジョン策定時の現状と計画、ビジョンである。
西田委員	具体的に書いてあるので、割合の図は後ろに持っていき図参照とした方が、わかりやすいのかもしれない。ビジョンは大切だと思う。
事務局（赤城）	参考にさせていただく。
太田委員	現在、道の駅は 1100 以上ある。そのうち 6 割 5 分が山間部。残りは平野部。行田市は平野部になる。防災の視点に力を入れてほしい。直下型地震が遠からず起きる確率が高い。一時避難所などに役立てるような道の駅を作ってほしい。防災と医療。これから高齢者も増える。若い人が減る。地震が起きると再生が中々難しくなる。その場合に道の駅において、避難誘導等がうまく活用でき、施設づくりに生かされればよい。防災とは言葉だけ出て、具体には書いてないように思うが。
事務局（赤城）	109 頁に防災機能について盛り込んである。
太田委員	防災施設によっては、事業者候補も変わると思う。地震に対応した建物を検討いただきたい。
小林委員長	基本計画なので、努めます、想定しますという形になる。実施計画等で具体的に出てくる。
太田委員	防災は強く推したい。
大野委員	99 頁、テーマで「未来を体験してもらおう」とあるが、具体的にどこの部分のイメージしているのか。
事務局（赤城）	事業者との調整の中でしていく。
大野委員	夢まつりなどで、「未来」をテーマとしたものをやってもよいと思った。
西田委員	17 頁、市内循環バス。現状として 1 日に 4 便しかない。6 路線が運営しているとあるが、一日 4 便なので、将来年配者がバスで来れるビジョンもあればよい。
事務局（赤城）	路線図について、観光拠点循環南大通りが一番多く 1 時間に 2～3 本出ている。所管課から現在見直しをしている段階であると聞いている。 将来的な公共交通に関しては 102 頁のバスターミナルで、整備方針とし

	て所管課と調整し、市内循環バス、デマンド交通を盛り込んだものに修正する。
伊藤委員	<p>計画が具体化する中で検討願うが、101頁あたり、ウェルカムエリア、情報発信機能を考えてもらいたい。情報発信拠点がコンセプトにあるが、行田の中の様々な産業を結びつけ活性化させることが念頭にあったと思う。そういったときに新しい商品開発がここに入る。道の駅だけでなく、事業として成り立つために、より多くの情報としてより広く届く仕組みが必要となる。独立して商品が売れることが重要。そのためにマーケティングに繋がる広報活動がないと広がらない。訴求力に関する機能をどうするのか。道の駅だけではなく、その後の事業展開を考えたときの位置付けをどうするのか検討していただきたい。</p>
大野委員	<p>地域の商品をよりいろいろな地方に対して広めるために、広報戦略につながる提携を結んでほしい。</p>
大橋委員	<p>他の道の駅と比べた時にこの道の駅の何が違うのかとパッと見て分かるかという視点が必要と考える。行田らしさが伝わる道の駅であるということ。エリアの考え方から行田らしさを伝えていくのか、どのエリアが何と繋がるものか、何をテーマに接続していくのかもっと盛り込まれればと思う。今のままでは伝わりにくいのではないか。一般に公開する前に繋がればいい。それが広報にも繋がるのではないかと考える。</p> <p>販売路線の拡大が重要。インターネットを活用し、HPや販売サイトなど作り見せていくなど、そういったことをやっていけば、今までやってなかったものが6次産業に繋がってくる。</p>
小林委員長	そのあたりも検討させていただく。
事務局（赤城）	事務連絡。